

<真剣味>65

2017. 1. 6

2017年

2017年がスタートし、私は監督4年目に入ります。これまではこれといった成績も残せずまた、選手の成長にどれだけプラスになったか不安な部分もあります。でも立場を頂いている以上後ろを向いているわけにはいきません。選手の成長を考え、またチーム発展のため、今年はどんな野球をしたいのか、またできるのか考え、その実現のためしっかり計画を練り、行動に移します。また今年はとにかく正しい努力をさせたいと思っております。

3月の遠征に始まり、4月の合宿等を通してチームの方向性を決め、4月23日（日）からスタートする春季大会では1日でも長く、内容のある野球を行い、今まで参加したことのない大会まで行きたいと思っております。今年こそという強い気持ちで臨みます。

◎クラブ創設10周年

現在32名の選手で運営しています。選手・保護者の方々は新潟江南シニアを選んで来てくれています。そこで各人の野球の成長が見られることはもとより、人として成長することも大切です。今年はさらに選手の成長を生かしながら、保護者の応援をいただき、目に見える成果を出さねばと今思っております。少しプレッシャーですが上にも記したように、「今まで参加したことのない大会へ参加する。」これしかありません。

◎正しい努力で伸びる

選手は試合の初めから最後まで出場し、活躍することを目標に、日頃から練習に打ち込んでいます。ただ、自分の良さを発揮するには他の選手と同じ内容を練習するだけでは「～らしさ」を身に付けるには少し難しい点があると思います。

我がチームにも「～らしさ」を出すために徹底して練習している選手がいます。彼は基本的に物事を真面目に考えるタイプ。だから外野手と投手の両方の練習はできるはずですが、ただ一つに絞ることで彼の武器である「スピード」を磨くことができ、外野の守備や走塁などで生かすことができるはず。だからとにかく自信がつくまでやり切ってもらいたい。ひとつづまういってからの課題である投手の練習を行っても遅くはないと思います。

彼はバッティングの練習の時にただ打つだけでなく、足を生かすためのスキルアップ、特にバントを徹底して練習しています。さらに守備でも今まで以上に目の色を変えて取り組んでいます。やはり目標がはっきりすることで、今までモヤモヤしていた部分がすっきりしたように思われます。

◎1年生のリーダー

昨年は全員がリーダーを担当しました。その中で、人前で話す経験、全体をリードする経験などを体験しました。今年2017年は全員リーダーでなく、月単位で内野手・外野手・バッテリーと3ブロックに分けて、リーダーのトレーニングを継続していこうと考えております。リーダーとフォロワー、どの立場でもチームのために活動できるはずですが、感じる⇒考える⇒行動に移す。プラス思考でいきましょう！！

トピックス

●今年も年に1回のスキーに行って来ました。ただ何となく滑るのではなくやはり自分なりの「チェックポイント」を設けていれば、もっと楽しく上手く滑れたのかもしれませんが。

●湯沢町のスキー場へ行って残念だったことがありました。休憩所として使わなくなったブルートレインの車両が置いてありました。休みたくて車両に入りましたが、ほとんど人がいない時間帯でしたが、自分たちの荷物を置いて場所取りをしてありました。本当に休みたい人がいるのに場所取りなんて「えっ!」という感じでした。私たちは雪の上で休みました。